

議 事 の 経 過	
【開催日時】 令和元年 9 月 2 7 日（金） 午前 9 時 5 8 分～ 1 1 時 【場 所】 坂戸市役所 2 0 1 会議室 【出 席 者】 委員 1 5 名中 1 1 名 【傍聴人数】 0 名 【議 事】 （１）坂戸市地域福祉計画（第 3 期）の策定状況について （２）その他 【配布資料】 資料 1 …地区別懇談会（地域ミーティング）実施結果 資料 2 …第 3 期坂戸市地域福祉計画・第 3 期坂戸市社会福祉協議会地域福祉活動計画（素案） 追加資料 1 …坂戸市地域福祉計画（第 3 期）・坂戸市社会福祉協議会地域福祉活動計画（第 3 期）アンケート調査報告書（差し替え） 追加資料 2 …地域福祉計画 取組一覧(差し替え)	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	（１）坂戸市地域福祉計画（第 3 期）の策定状況について 資料 1 に基づき説明。
委員	東松山市では免許を返納した人などの交通手段として、ワンコインで駅や病院まで行けるタクシーがあるが、坂戸市では実施しているのか。
事務局	本市では実施していない。
委員	外国籍の方が多くなっており、学童の保護者と学校とのコミュニケーションの支援の必要性を課題としているが、AI

	通訳機を導入してはどうか。子どもたちは生活する中で日本語を学んでいくとは思いますが、うまく意思疎通ができないこともあると思うので、学校に配布してはどうか。
事務局	翻訳機は市役所の庁内に設置し、窓口で使用する予定である。学校現場まで使えるかは不明だが、意見があったことを教育委員会にも伝える。
委員	市内の日本語学校も増えており、外国人が増えていると感じる。習慣や言葉の違いによるトラブルもあるという話も聞いているため、市でも対策を考えていただきたい。
委員	何度か地域ミーティングに参加したが、ボランティア活動をしている人たちは地域での活躍がめざましい。退職した男性が多いことも市の特徴であると思う。 また、これからの課題として、働いている人が福祉の恩恵を受けられていない点が挙げられる。働いている人たちにとっても住みやすく、退職後、地域に戻ってきてもらうためには、地域になじみやすいよう働きかけることが重要だと考える。働く人や若者への働きかけはこのような会議の場に出てこない。また、地域ミーティングも出てくるのは退職者が多いため、意見が挙がってこない。しかし、福祉の担い手であり、福祉の恩恵を受ける側でもあるため、その関わりも重要と考える。市内の3つの大学では地域貢献として地域の活動に参加しているので、大学との連携も大切だと思う。
事務局	素案の中で、働く人と若者が地域に戻ったときに活躍できるよう、計画のどの部分に反映できるか検討していきたい。
委員	地域ミーティング参加者から現実的な良い意見が出ていると思う。この課題を素案の中にどの程度入れ込んであるか、取扱いについて聞きたい。
事務局	資料2の素案には具体的な計画は落とし込んでいないが、課題の中から大きな柱が抽出できたため、示した資料2 38ページの「計画の体系」にそれぞれの課題に応じた理念

	と課題を定めている。ブラッシュアップが必要だが、第2期計画の第4章に当たる内容を次回の審議会で示したい。
事務局	計画の素案について、資料2に基づき説明。
委員	自治会の加入率が低い、自治会加入率を上げることにについて具体的な方策はあるか。
事務局	担当である市民生活課でも広報などでPRを行っている。それ以外については庁内検討会議でも示し、計画の中に入るか、具体的な活動として進めていくのか検討したい。
委員	自治会加入率が下がっていることや、脱会している人が増えている原因としては何か。
事務局	脱会した人からアンケートを取ったことがないので理由は不明だが、地域のつながりの希薄化や役員のなり手不足、役員になりたくないことも背景にあると考えられる。市民生活課にも確認したい。
委員	高齢者だけで住んでいる世帯が増えている。自治会に加入していても地域の清掃活動等に出られないということで脱会しているのではないかと思う。
委員	団地住まいの人から聞いた話だが、階層ごとで訪問して会費を集めていたが、訪問しても出てこない人がいるなど会費の徴収が難しくなっているようだ。
委員	高齢化が一番の原因と考える。近所で一人暮らしの高齢者が健康上の理由で自治会を辞めた。また、若い人はなかなか活動に出てこない。いろいろな団体でも若い会員が入ってこないため、会が縮小すると聞いている。自分の住む自治会では、自治会費を振込にしている。募金も封筒をつけて回覧し各々が班長に届ける方法を取っているため、班長の負担が少なくなっている。ただ、役員はくじ引きである。自分の家族に、リタイアしたら自治会活動に関わらないと一人で寂しくなると促したところ、自治会に関わるようになった。リタイアした人は地域に知り合いがいなかったため、

	地域の人となじむ場が必要だ。
委員	自分の自治会では、退会届が提出されたときに辞める理由を聞くようにしたら、班長をやりたくないという意見が多かった。そろそろ班長が回ってくるから辞めようと考えているようだ。説得しても、お金を払ってもメリットがないなど理由をつけて辞められてしまう。全国的な問題かもしれないが、条例を作るなど対策が必要ではないか。 対面で集金に行くことで、周りに誰がいるか把握でき、災害のときに助け合えると思う。自分の地域は9割近くが加入しているが、班編成をしようとするとき特定の家を避けたがるなどトラブルもある。一方で、「災害時に助け合えたので自治会に入っていてよかった」という意見もあるため、なるべく対策を立てていくべきだと思う。
委員	自分の自治会でも、役員が高齢化し、一人世帯のためできないと言われる。
委員	高齢化世帯が当たり前になっているがやむを得ないことである。次世代の者を出すということが大事である。自分も22歳から地域活動をして自営業者や農家と関わっている。商工会加入率も60%を切っており、個人商店の消滅も危惧されている。後継者がいるのが10人に1人程度であり、地域おこしをする必要がある。自由業、サービス業などは増えているが、商店、自営業が激減し、サラリーマンとして働く人や共働き世帯が増えている。サラリーマンの人たちを含め、次世代の者が活躍するような対策をしないと自治会加入率などが下がる一方である。次世代の人たちを地域にとどめるということも大事だと思うので、良い方法があれば考えていきたい。
委員	自治会の年会費が地域によってさまざまで、区長会でアンケートをとっても3千円～1万円と幅があり、自治会によっては入会金を徴収しているところもあると聞く。そのあたりの調整も必要である。自治会長のなり手についても見つからないのが現状である。
委員	夏祭りを実施している地域が少なくなっているが、自分の

委員	地域では近隣の新興住宅地に住む自治会員ではない人たちに参加を呼びかけたところ、子どもたちが多く参加するようになった。普段の活動では関わっていないが、いずれ一緒に協力しあえる関係にしていきたい。 自分の地域では、高齢化などにより地域のお祭りの運営が大変だったとき、若い世話人たちが、今後、地域がどんどん高齢化するから自分たちがなんとかしようと、「地域サポーターズ」という OB 会を結成し、お祭りを盛り上げた。うまく地域に参加できた例だと思うので、この活動を市全体に広げていけば地域が活性化していくのではないかな。 (2) その他
事務局	庁内策定・推進会議の実施報告及び今後の予定について案内。